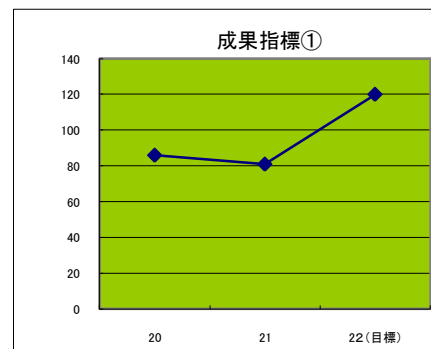
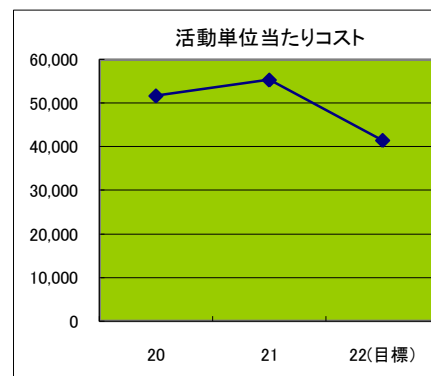


事務事業名		金婚祝賀事業		予算科目	会計	1	一般会計	
					款	3	民生費	
					項	1	社会福祉費	
					目	3	老人福祉費	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち		事業	2	老人福祉	
	施策(節)	3	高齢者福祉					
	施策の方向	(3)	高齢者の生きがいがづくりの促進		作成部署 保健福祉部福祉支援課			
関連する計画等				羽曳野市高年いきいき計画				
事業の目的	対象(誰を・何を)				連絡先	072 - 958 - 1111 内線 1211		
	羽曳野市に居住、住民登録されている方で、婚姻してから50年以上が経過している夫婦							
	意図(どういう状態にしたいのか)							
事業の内容	長寿および金婚を祝福し、併せて敬老思想の高揚及び高齢者福祉の増進に寄与する。							
	申請のあった対象者に対し、その金婚を祝福し、泉佐野市内にある全日空ゲートタワーホテルにて式典及び祝宴を開催する。また記念品及び記念写真を贈呈する。							
	平成20年度実績 申請組数：111組(222名)、参加組数：86組(167名) 平成21年度実績 申請組数：100組(200名)、参加組数：81組(157名)							
根拠法令等		老人福祉法第5条						
事業開始時期		☐ 昭和 年開始 ☒ 明確にはわからない ☐ 平成 ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている				終了年度	平成 年度	
事業開始時からの状況変化		平成16年度までは市内施設(コロセアム)にて式典・祝宴を行っていた。平成17年度より現行の形に移行。						
市民や議会の要望								
実施手法		☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先		☐ 市外郭団体委託 名称() ☒ 民間委託 ☐ その他				委託内容 祝賀会の開催、運営業務		

区 分		20年度	21年度	22年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		1,774	1,812	2,296
人件費【2】 (千円)		2,670	2,670	2,670
職員数	正規職員	0.23 人	0.23 人	0.23 人
	再任用職員	0.45 人	0.45 人	0.45 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		4,444	4,482	4,966
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	4,444	4,482	4,966
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		20年度	21年度	22年度(目標)
① 参加組数	組	86	81	120
②				
③				
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】 ①)		51,674 円	55,333 円	41,383 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		37 円	38 円	42 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成20年度		平成21年度		平成22年度
	①	(式)	組	金婚を祝した組数	目標	86	81	達成率(%)	120
					実績	86	81	100.0%	
	②	(式)			目標			達成率(%)	
					実績				

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	老人福祉法に規定する「老人の福祉についての関心と理解を深めるとともに、老人に対し自らの生活の向上に努める意欲を促す」ために必要な事
								○			

分析・評価

視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	市民ニーズが高く、廃止した場合の影響は相当に大きいと思われる。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
	社会情勢の変化に対応している	☐	☐	☒	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☐	☒	☐	
	国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	緊急性が認められる	☐	☒	☐	
	効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	
受益者負担の割合は適当である		☐	☐	☒	
人員を削減する余地がない		☒	☐	☐	
事業費を削減する余地がない		☐	☒	☐	
簡略化できる方法や手段がない		☐	☒	☐	
市の他事業と重複していない		☒	☐	☐	
民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない		☐	☒	☐	
有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	高齢者夫婦の金婚と長寿を祝うことにより、高齢者の生きがいを促進する事業であり、上位施策に寄与している。
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
	成果を向上させる余地がない	☒	☐	☐	
	市民の視点にたっサービスが提供されている	☒	☐	☐	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☐	☒	☐	広報で案内を掲載し、課窓口にて申請を受け付ける。
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☐	☒	☐	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒	☐	☐	
達成度	成果指標の目標値は適正である	☐	☐	☒	概ね参加が図られている。
	成果指標の実績値は目標値以上である	☐	☐	☒	
	成果指標は前年度より向上している	☐	☐	☒	

担当 部局 評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	平成17年度より、会場設営及び祝宴を業者に委託したことで、一定の効率化が図られており、また老人福祉法に規定する「老人の福祉についての関心と理解を深めるとともに、老人に対し自らの生活の向上に努める意欲を促す」ために必要な事業であるため、現状維持が妥当である。	
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	
	当該事業については市施策としても非常に意義のある事業である。	

行 事 本 部 評 価	総合評価	評価理由・意見
	☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	